



整備にあたっては既存の地形を大きく変えることなく利用している



園内で行われる園芸講習会



湧水がつくった湿地帯を保全するため木道を設置して園路としている

DATA・BOARD 25

- ①兵庫県美方郡村岡町池709番地
- ②面積：164,685㎡、交流館延床面積：969.5㎡
- ③JR山陰本線八鹿駅からバスで福崎下車・下車後タクシーで約10分、中国自動車道福塩ICから車で約90分
- ④ハチ北高原、兔和野高原、木の殿堂、ロジカどま
- ⑤スタンプラリー、写真コンクール、オリジナルアート・プランターコンクール、写生画コンクール、クリスマスリース教室

※冬季の1月1日～4月14日の間の植物園は休園



村岡町は、但馬高原を背景にした豊かな自然環境にあり、緑のサイエンスランド構想のもとに美しい自然資源を活かしたまちづくりを進めている。

但馬高原に位置する瀬川平一帯は、豊かな緑と湧水が作り出した美しい湿原があり、こうした自然資源を活かすとともに、集客施設としてだけではなく、地域住民が身近な自然や野草などに親しむ場、園芸や花いっぱい運動の活動拠点としての機能を持たせることを目的に「但馬高原植物園」の整備が行われた。

自然の中にあることを特徴付けるため、背景にある周囲の広葉樹林や地形を活かすと共に、散策路はゆるやかな曲線を多用するなど、全体の景観構成に配慮した。また、自生するカツラの巨木の上手からは湧水が流出しており、この湧水により湿地帯が形成され貴重な高原植物が生育しているため、見学のための木道を設けた。園内には、交流館も併設されており、来訪者のためにレストランも併設されているほか、園芸品の販売も行われている。植栽した花苗や母株の植え付けには、愛好家が組織したボランティアグループの協力があり、開園後も交流活動が展開されたり、販売用の園芸品をつくっている。また、地元農家もポット苗を生産するなど、新たな地域特産品目として農業生産の拡大にもつながっている。

園芸教室や撮影会、コンサート、展示会などの催しも開催されており、週末を中心に町内外から多くの入園者がある。